

＊ 1月のイベントカレンダー ＊

日	曜日	行事予定
1	日	休館日
2	月	休館日
3	火	休館日
4	水	仕事始め
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	休館日
10	火	
11	水	※13:00 ドイツ語
12	木	
13	金	
14	土	14:00 臨時閉館 15:00 会員交流ボウリング大会
15	日	休館日
16	月	休館日
17	火	
18	水	※13:00 ドイツ語
19	木	
20	金	
21	土	10:00 英会話サークルFIND 10:00 出張JICAデスク
22	日	10:00 子ども日本語ひろば
23	月	休館日
24	火	
25	水	※13:00 ドイツ語
26	木	
27	金	
28	土	13:30 情報紙発送作業
29	日	
30	月	休館日
31	火	

※印は自主サークルです

会津で世界と会話しよう！英会話サークルFIND

英語を話したい人が集まる英会話サークルです。ゲームやクイズ、フリートークの時間を交えながら、楽しく英会話を練習します。英語のレベルは問いません。英語でコミュニケーションしようという気持ちがある方なら大歓迎！多世代、多国籍のすてきな仲間と出会える場です。

日 時 1月21日(土)
10:00～11:30
場 所 會津稽古堂研修室5, 6
定 員 20名 ※参加費無料
対 象 どなたでも
申込み 1月20日(金)まで
(先着順)



福島県に住む外国の方へ 新型コロナウイルス相談ホットライン

お近くに困っている方がいたら紹介してください。福島県に住む外国の方なら誰でも無料で相談できるホットラインです。コロナの不安、生活相談を多言語で24時間受けつけます。電話とライン通話があります。

(1)電話:0120-992-860 (2)ライン通話:右のQRコード

※ 保健師の対応は平日の9:00～17:00

※ 対応言語:英語(English)、中国語、韓国・朝鮮語(한국・조선어)、タガログ語(Tagalog)、ポルトガル語(Português)、ベトナム語

(Tiếng Việt)、タイ語(ภาษาไทย)、ネパール語(नेपाली भाषा)、インドネシア語(Bahasa Indonesia)、スペイン語(Español)、フランス語(Français)、ドイツ語(Deutsch)、イタリア語(Italiano)、ロシア語(Русский язык)、マレー語(Bahasa Melayu)、ミャンマー語(မြန်မာစာ)、モンゴル語(Mongolian)、シンハラ語(සිංහල භාෂාව)、ヒンディー語(हिंदी)

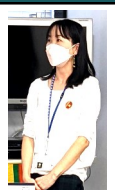


LINE ID
fukushimacovidcall

出張JICAデスク in会津

JICA福島デスクの松山 里美さんが、当協会へ一日JICAデスクを開催します。国際協力のこと、海外で日本語を教えた経験などを詳しく聞けるチャンスです。時間内に自由にお越しください。事前に来所のご連絡をいただくと助かります。

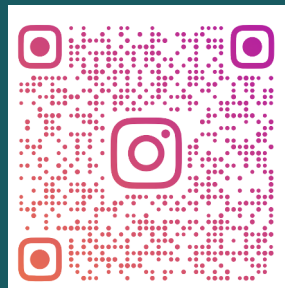
日 時 1月21日(土)10:00～17:00 場 所 当協会



情報紙発送ボランティア

情報紙の袋づめなどの簡単なボランティアです。申込みは必要ありません。出入り自由です。お子様連れの方、初めての方、会員外の方など、お気軽にご参加ください。

日 時 1月28日(土)13:30～ 場 所 当協会



フォローしてね

AWIA-PHOTO

<http://facebook.com/awiajp>



イベントの最新情報をお届けします！

会津若松市
国際交流協会

〒965-0871

会津若松市栄町2-14

リオン・ドールガーデン5階

TEL:0242-27-3703

<http://awia.jp>

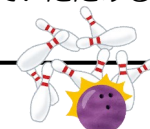
メール: mail@awia.jp

会津若松市国際交流協会 情報紙



昨年中も、会員の皆さま方より多くのご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。2023年も多くの方に参加していただける国際交流活動を目指していきます。一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

皆さまにとって新しい年が、素晴らしい一年になりますように！



新年ボウリング大会



なかなか顔を合わせることがない
会員さん同士、新年のご挨拶をかねてボウリングで軽く体を動かしましょう！こちらでグループを作りますので、お申込時にレベル(だいたいのスコアがわかれば)を教えてください。ファミリーレーンも設けますので、お子様連れやご家族の方は一緒に申し込みいただけます。

日 時 1月14日(土)14:30集合 15:00～17:00
※14:30より受付、靴、ボールの準備など
場 所 ボウルサンシャイン(会津若松市旭町7-25)
無料駐車場有 TEL:0242-37-0231
参加費 ① 大人 1400円 ② 大学・専門生 1300円 ③ 中・高校生 1100円
④ 小学生以下 1050円 (2ゲーム、貸靴、1ドリンクをふくむ)
※会員または中学生以下で親が会員の場合:100円引き
定 員 30名 ※学生の方は学生証をお持ちください。
申込み 1月10日(火)まで。左上のメールフォームのご利用が便利です。

◆臨時閉館のおしらせ◆ 1月14日(土)はボウリング大会のため、14:00以降は臨時閉館いたします。



自宅で国際交流

ノースカロライナ大学 シャーロット校

ホストファミリーを募集します！

アメリカのノースカロライナ大学シャーロット校から、歴史学・国際学・日本学を学ぶ学生たちが、授業の一環として会津若松市を訪れます。そこで、ホームステイの受入れをしていただけるホストファミリーを募集します。学生たちは、会津の歴史や自然に触れたり、ホストファミリーと交流することをとても楽しみにしています。

期 間 3月3日(金)夕方～3月5日(日)朝 2泊3日
募集家庭 20家庭(1家庭1名の受入れ)
内 容 アメリカのノースカロライナ大学シャーロット校の学生のホームステイ受入れ。※歴史学・国際学・日本学専攻の学生が江戸時代の社会史などを学びに来日。
謝 礼 食費程度の謝礼をお渡しします。
問合せ・申込み 1月31日(火)までに当協会へ
※初めて受け入れるご家族の不安を軽減するため、事前の説明会を開催します。詳しい内容については申込時にご説明します。

予告

2月12日(日)10:00～ 会津大学の麻野 篤 教授をお呼びして、国際理解講座を行います。私たちが目指す多文化共生社会について、ワークショップ形式で考えます。ご期待ください！詳しくは次号で。

年末年始休業のお知らせ

当協会は12月29日(木)～1月3日(火)まで年末年始のため閉館となります。新年は1月4日(水)から平常通り(9:00～17:45)開館いたします。
「子ども日本語ひろば」は12月25日(日)はお休みします。新年は1月22日(日)からスタートです。

★会員募集中★

お友達、ご家族、同僚の方々などをご紹介下さい！

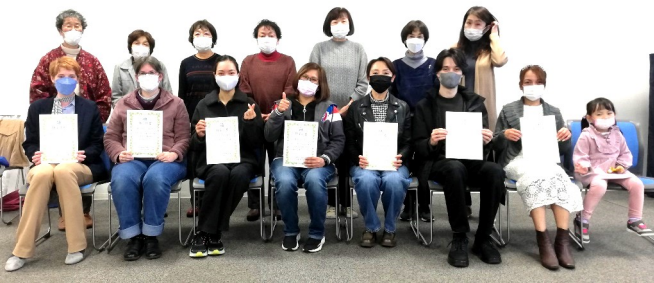
会員の方には情報紙を毎月お送りします。
講座やイベントへの参加割引があります。

★年会費(4月～翌年3月)

個人1口:2,000円 学生1口:1,000円 法人:10,000円

日本語会話教室秋クラス修了「次は春クラスで！」

日本語秋クラス
修了式



日本語会話教室 金曜日(昼)クラス 学習者とボランティアさん

9月から始まった秋の日本語会話教室、全12回の授業が終わりました。スリランカ、スペイン、アメリカ、タイ、ベトナム、ドイツ、中国、ブラジル、マレーシア、フィリピン、カナダ、台湾出身の約25名が、木曜日夜と金曜日昼のクラスに分かれて日本語を学びました。日本語能力検定を目標にする方、日常で使う表現や漢字を学習する方など、学習内容はさまざまです。最終日には、ボランティアさん手作りの修了証書が、学習者全員に手渡されました。ご参加いただいた学習者さん、毎週教えて下さった日本語ボランティアさん、本当にありがとうございました。

シャーロックホームズを
原書で読む会

英語の原書を読む会「シャーロック・ホームズ」に挑戦



12月初旬までの隔週火曜日、「シャーロック・ホームズを原書で読む会」全8回を開催しました。ホームズファンの方、英語の原書を読みたい方など約15名が集まり、会津短期大学の若林 達司先生のわかりやすい説明を受けながら、古典の原書で「The Adventure of the Blue Carbuncle / 青い碧玉」を読み終えました。物語の時代背景の説明や、原作をもとにしたドラマのセリフを解釈する時間もあり、古典文学を読む面白さを存分に楽しんでいただくことができました。「今後もこの会を続けたい」という声が多数ありましたので、次回開催についても検討中です。ご期待ください！



火曜日夜 會津稽古堂研修室にて

素敵な“おはなしのへや”をありがとう！

11月27日（日）、會津稽古堂で「外国語おはなしのへや」を開催しました。英語のへやはジェニー テイラーさん(左)、イタリア語はジュリア ルッシーさん(右)、ベトナム語はチャン チンさん(中)が、各国の言葉で絵本をよみ、子どもたちと遊びました。語学ボランティアさんのご協力で、素敵な3つのへやを開催できました！



←チャンさんから子どもたちへのプレゼント。ベトナムのお正月「テト」で食べるという、もち米を葉っぱで包んだバインチュン（Bánh chưng）を折り紙で。



こんにちは
事務局です

剣道で国際交流 城西剣士会さんの温かいメッセージ



市内で英語講師をしている会員さんから、「I've been wanting to join a kendo club. (ずっと剣道クラブに入りたいと思っていて・・・)」と相談を受けました。人づてに城西剣士会さんに聞いてみたところ「ぜひ体験にいらしてください」とお返事が。そればかりか、すぐにSNSで右のような温かいメッセージを公開してくれました。とても嬉しかったので紹介させていただきます→

当協会はこのように、たくさんの地元の団体、個人の方の温かい心遣いに支えられて国際交流活動や在留外国人支援を行っています。本当にありがとうございます。相談してきた会員さんは現在、優しい人たちに囲まれて楽しく剣道の練習に通っています。

Join us will you??

今や剣道も国際的な競技になっています。会津若松市にもたくさんの外国人の方がお住まいです。せっかく会津にいらしていただいているのですから、剣道を通して交流ができれば最高です。(中略) 先ずはやってみないと始まらない！英語(流暢ではありませんが)話せます。多少なりともお役にはたてますので、ご安心を。お気軽にお問い合わせください

城西剣士会さんのfacebookより

インタビュー



安達太良山山頂にて

Addison Hoggard

アディソン ホガード さん (英語講師、作家)

会津に来て1年たつという英語講師のアディソンさんは、詩人としてのデビューもしています。彼の詩は2018年にアメリカの雑誌のBest of the Net賞に選ばれ出版されました。今は“home”を題材に詩を書いているそうです。“home”について考えるうちに、アメリカのノースカロライナ州にある自分の故郷と、ここ会津若松市の新しい故郷、その二つが意外に似ていることに気がついたそうです。“教えること”と“書くこと”、どちらにも情熱を持っているというアディソンさんにお話を聞きました。

～ALTの仕事を楽しみながら、作家としても活動中～ 情熱のバランスを楽しみながら

ー“書くこと”を始めたのはいつからですか？

物心ついたときから文章を書いていました。幼少時代は、祖母に物語を話し、物語をタイプしてもらうために何時間費やしたかわからないほどです。学校に通い始めてからは、暇さえあれば、ノートに簡単な物語や詩を書いていました。言葉や、言葉が持つ音の魅力に惹かれ、言葉と音には、感情・思考・そして物語を伝えるための、何か強い力があると感じていました。

ー“作家になること”は子どもの頃からの夢だったのでしょうか？

不思議に思われるかもしれませんが、私の人生における最大の悩みは、「大きくなったら何になりたいか」を決めることでした。なぜそんなに悩んだのか？それはきっと、私の出身地が大きく関係しているのでしょう。私の故郷は、地図にはのっていないような小さな町です。説明するときはいつも、まわりの大きな町の名前を言わなければなりませんでした。そんな何もない場所、つまり夢を持つことが難しい場所で育った私は、何の職業についたらよいか、よく想像できなかったのです。それでも私は、“教えること”と“書くこと”、この二つに対して特別な愛情がありました。だから、幼稚園の頃に、「大きくなったら何になりたいか」と聞かれたときに、「先生」と答えるか、「作家」と答えるべきか困ったことを覚えています。

ー作家になったきっかけは何でしょう？

“書くこと”には常に情熱を注いでいましたが、人生をかけて真剣に取り組むようになるとは思っていませんでした。大人になり、「具体的な」進路を選ばなければならないというプレッシャーに怯えるようになりました。優柔不断な私は、大学でライティング(文芸創作)とフランス語の二つを専攻することにしましたが、私のキャリアに影響するのはフランス語の方で、ライティングは趣味の一環だという気持ちがありました。

皆さんもご存じでしょうが、何事も計画通りにはいきません。ライティングのクラスで私が集中して取り組んだのは短編小説でしたので、気まぐれに提出した最初の詩が出版されることになり、2018年に雑誌のBest of the Net賞に選ばれたときには、とても驚きました。これがきっかけで、私は思いがけず詩人としてのキャリアをスタートさせ、今もときどき出版しています。私は自分を詩人だと思ったことはありませんが、世の中に評価されているのは短編小説ではなく、詩の方なのです。

ーインスピレーションはどこから来るのでしょうか？

人との出会いからが多いです。私は、自分の人生に関わる人々についてよく考えます。その時間がとても好きで、そのときの感情から詩が生まれます。また、常にインスピレーションの源であるのが大自然です。海外で生活していると、自然や地理的な違いに気が付きます。ブラジルに住んでいたときは、母国と比べ、自然がいかに鮮やかであるかに夢中になりました。ノースカロライナの自然が美しいわけではありませんが、ブラジルの自然には、本当に惹かれるものがありました。

ー多くの人に詩を読まれるのはどんな気分ですか？

信じられない気持ちと同時に、夢をみているような気分です。自分の作品が、多くの人の目に触れる場所に置かれるとは思ってもみなかったので、今でも驚いています。ただ、私の作品を気に入ってくれる人がいること、そして詩を通して、私が見たものや、ひとりの人間としての経験を、少しでも世界に伝えることができるのが、信じられないくらい嬉しいです。

ー“教えること”と“書くこと”、両方の情熱を追いかけているのですね。



二つの情熱の間で悩んだ経験は、最終的にここ会津若松に住むという私の人生につながっています。今は、英語講師の仕事を楽しみながら、作家としての活動も続けています。今回ばかりは、私の情熱の綱引きがやっと引き分けになったような気がします。

「大人になったら何になりたいか」という問いに、必ずしも答えは必要ありません。私たちは常に新しい経験をし、新しい人々に出会い、自分自身と世界とのかかわり方について新しい考え方を発見できます。何よりも大切なのは、今を一生懸命に生きること、たとえ少し道を外れても、すべての情熱を追い求めることかもしれません。私は今のところ、この会津若松で、“教えること”と“書くこと”、この二つの情熱を存分に楽しみながら、自分なりのバランスを見出させています。